



過去の「さんかく」はこちらから
右QRから、
市ホームページ「さんかく」
へ(カラー版)



オールド・ボーイズ・ネットワークをご存じですか？ 平等と多様性の未来に向かって

「オールド・ボーイズ・ネットワーク」とは、組織の中で大多数を占め、中心的な役割を持った男性たちによって培われた「明文化されていないルールや約束事、仕事の進め方」など各組織に根付く企業風土や文化のことを指します。かつては、イギリスのエリート校に通っていた男子卒業生達の個人的な繋がりを指していたそうです。現在に至るまで、同じ社会的・教育的背景を持つ男性が互いに助けあう体制のことを意味するようになりました。

実際に、どのような事例があるのでしょうか？

男性職員だけの飲み会で、仕事の話が共有されていた。



「気心の知れた仲間」とだけ過ごせればいい。



当事者の間では、「あたりまえ」のことと思っているため、何が問題なのか分からない方がいるかもしれません。私たちの身の回りではどのようなことが考えられるでしょう？

新しい意見が出ないかも？

女性の活躍を阻害しているのかな？

ハラスメントが起こりやすい？

他にも何か思いつくことはないかな？



防災訓練を考える組織にオールド・ボーイズ・ネットワークが存在する場合、防災に女性の視点が入り入れられない可能性がある！

実際に、以下のようなことが生じる可能性があります。

- 女性の意見が取り入れられず、必要な物資を受け取れない人が出してしまう。
- 避難所では男性は力仕事、女性のご飯作りや掃除を担当、など性別で役割を決めてしまい、どちらか一方に負担が集中してしまう。

これらを未然に防ぐためには、普段から話し合いに女性も参加できるようにし、男性も女性も意見を出し、言い合える環境作りが大切です。



「誰でも、どこでも、自分らしく」可能性を発揮できる社会を目指して

「オールド・ボーイズ・ネットワーク」によって、無意識のうちに異なる視点を排除し、多様な人材の成長や挑戦の機会を阻んでしまうことがあります。

自分には関係ないからと考えず、男性も女性も孤立しないために相手の立場を考えて、今まで「あたりまえ」だと思っていたことを振り返ってみませんか。

編集後記

この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。女性(Female)と男性(Male)がともに支え合い、対等な立場で社会(Society)を形成することを願って！
2026年(令和8年)2月25日発行
ふるさと未来戦略課男女共同参画室(内線 2239)

2006年~のさんかく!先輩方に敬意を表して市のHPから全て読み返しました。昭和から平成そして令和。皆さんの意識変わりましたか?(i.F)